

認知症作業療法 活動報告（概要）

熊本県作業療法士会では、平成27年度より地域包括ケアシステムへの参画推進を図るためプロジェクトチームを立ち上げ、認知症部門に関しては、初期集中支援チームへ参画できる人材の発掘及び育成を目的に事業を開始し、認知症アップデート研修（基礎編・応用編）の計画・運営を中心に事業を行って来た。また前年度より続いているカレンダー事業では、各関連施設にカレンダーを配布しアンケート調査を行った。その結果は熊本県学会にて報告し、今後はその結果を参考にしカレンダーをアップグレードさせていく予定である。また「認知症の人と家族の会」との連携では、前年度よりの賛助会員となっており、より一層関わりが深いものとなっている。



アップデート研修（基礎編）

アップデート研修は平成28年度より開始し4年目となる。延べ361名の会員が受講し、県士会員の2割半は参加している計算になる。県全土で認知症の関心は高いようであり毎回大勢の県士会員が参加している。前年度より「認知症サポーター養成講座」も併せて行っており、このことも参加要因の一つとして考えられる。

アップデート研修（応用編）

平成29年度より、応用編も追加して行っており行政、医師、若年性認知症コーディネーターにも講師として参加して頂き初期集中支援の模擬事例検討会も併せて開催している。多くの会員の参加を得ており、関心の高さがうかがえる。また、「認知症の人と家族の会」のアナウンスを行い、事業に参画出来る人材の発掘も行っている。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
基礎編	122名	82名	81名	76名	361名
応用編	—	60名	57名	予定	117名

認知症の人と家族の会への参加

認知症の人と家族の会が月1回行っている「みどりの小路」という活動に継続して参加。主に若年性認知症の当事者夫婦が集まり、様々な活動を通して交流を図る事を目的としている。毎回必ず作業療法士が参加し、当事者方々と一緒に共創し、その時々に応じて作業療法士の視点やアイデアの力添えを今後も行って行きたい。



カレンダー事業

各関連施設にカレンダーを配布しアンケート調査を実施。その結果を熊本県学会で報告を行った。話題の種として、または脳トレとして、使用出来たとの意見も多数あり、また復興リハでは仮設住宅でカレンダーがしわくちやになるまで使用されていたとの情報もあり作成した意義があったと思われる。現在、熊本県作業療法士会HPで無料ダウンロード出来る形を取っている。

今後の展開

- ・ アップデート研修を継続し、会員の認知症ケアに対する意識を向上させる。
- ・ 更には、講義ができる能力を有する方を増やし、他機関からの講師要請に対応する。
- ・ 認知症の人と家族の会と連動し、新たな活動を展開する。
- ・ 家族の会に参画出来る人材の育成、また継続的に参加出来るシステム作りの構築
- ・ カレンダーのアップデート